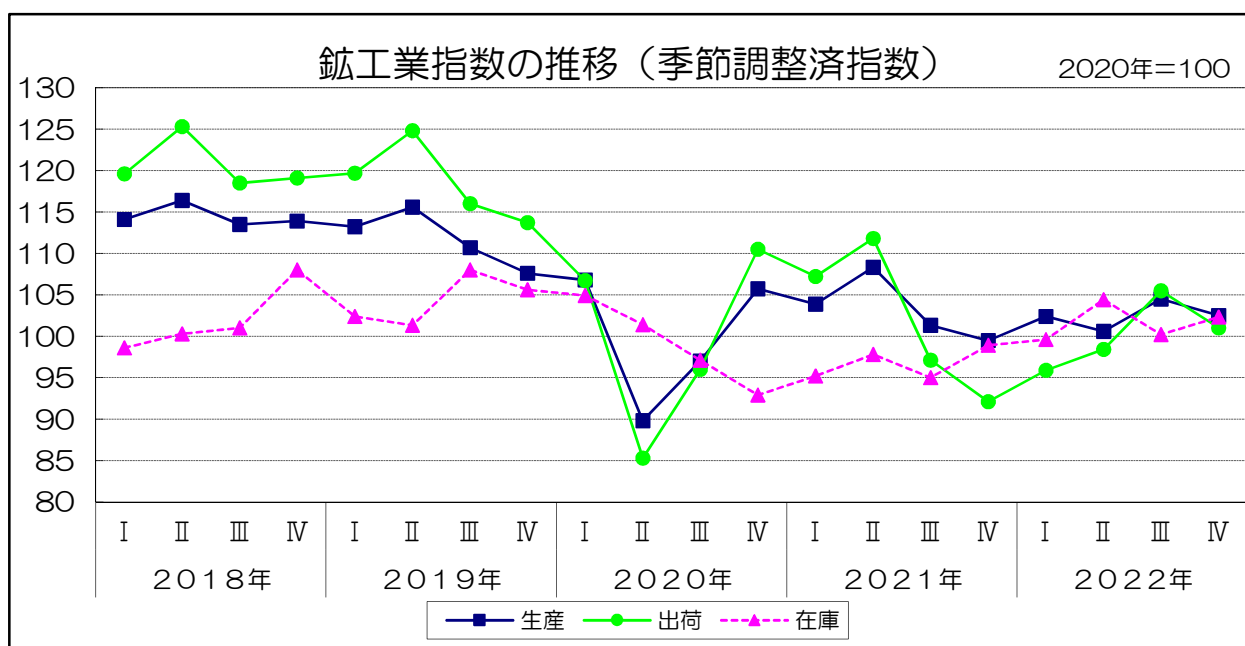


令和4年福岡県鉱工業指数の動向

1 概況

(1) 業種別動向（全18業種・主要業種の動向はp.5以降を、全業種の推移はp.13以降を参照）

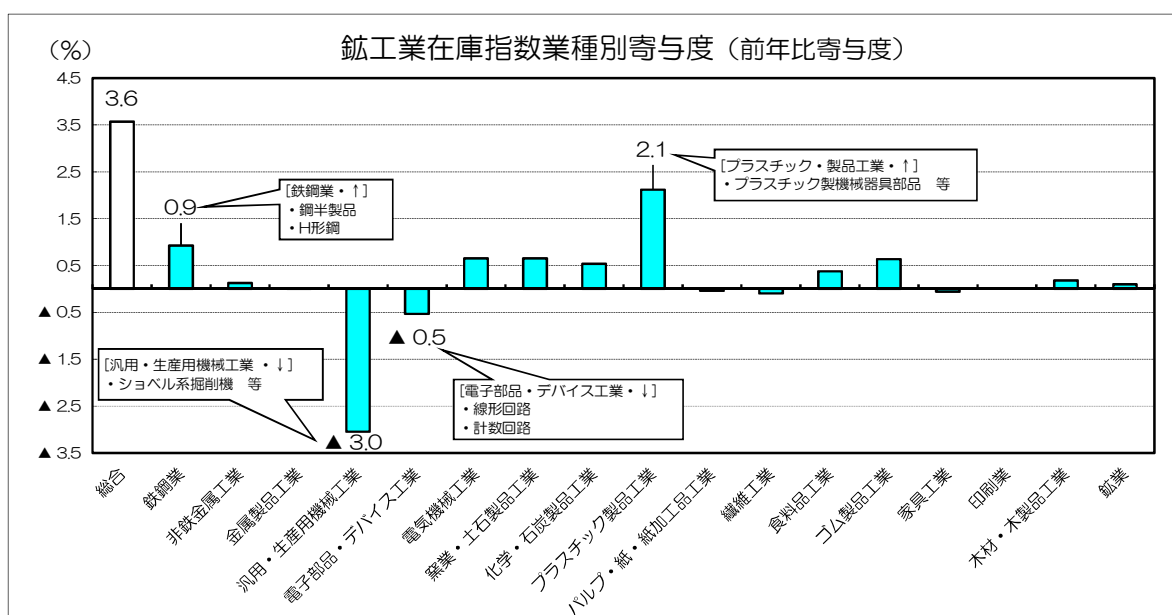
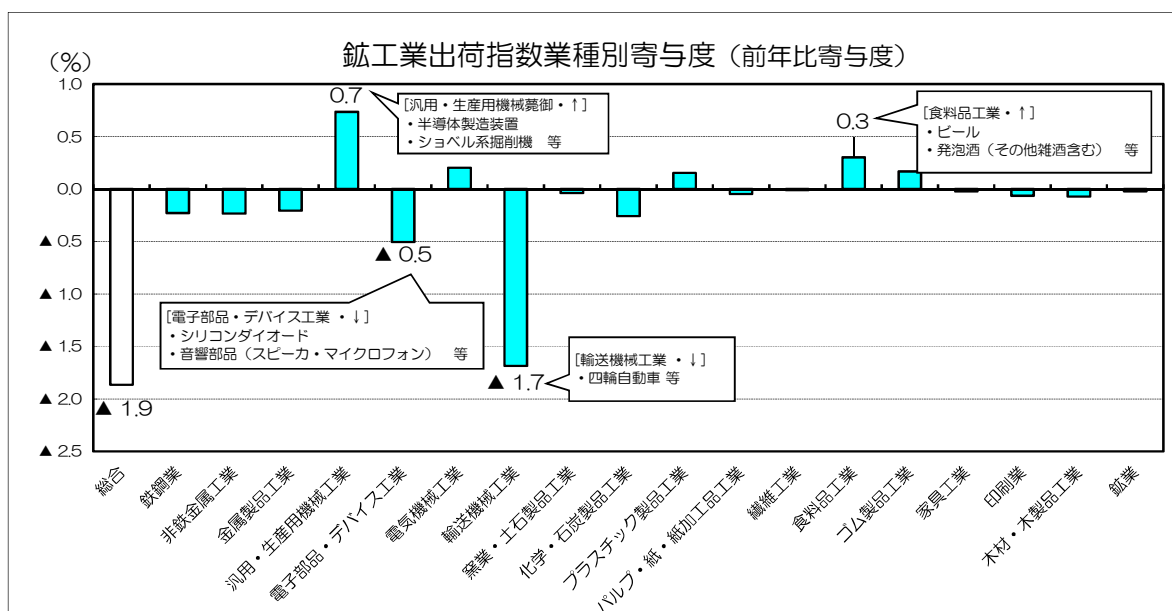
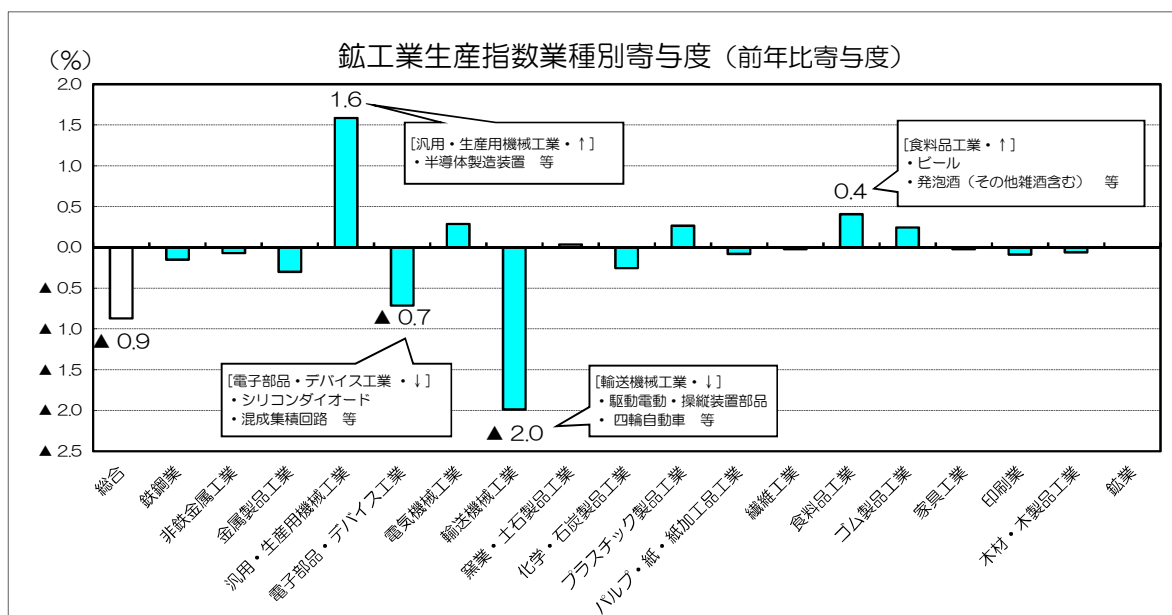
- ① 生産
2022年の生産指数は102.3で、前年比0.9%減と2年ぶりの低下となった。
業種別では、汎用・生産用機械工業、食料品工業など6業種が上昇したものの、
輸送機械工業、電子部品・デバイス工業など12業種が低下した。
- ② 出荷
2022年の出荷指数は100.0で、同1.9%減と2年ぶりの低下となった。
業種別では、汎用・生産用機械工業、食料品など5業種が上昇したものの、
輸送機械工業、電子部品・デバイス工業など13業種が低下した。
- ③ 在庫（全17業種）
2022年の在庫指数は98.6で、同3.6%増と2年連続の上昇となった。
業種別では、汎用・生産用機械工業、
電子部品・デバイス工業など5業種が低下したものの、
プラスチック製品工業、鉄鋼業など12業種が上昇した。



鉱工業指数の推移（年は原指数、四半期は季節調整済指数）

2020年=100

	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	I	II	III	IV
生産	114.8	111.4	100.0	103.2	102.3	102.4	100.6	104.5	102.5
前期（年）比	▲0.4	▲3.0	▲10.2	3.2	▲0.9	2.9	▲1.8	3.9	▲1.9
前年同期比	—	—	—	—	—	▲1.6	▲7.3	3.9	1.6
出荷	120.9	117.9	100.0	101.9	100.0	95.9	98.4	105.5	101.0
前期（年）比	0.2	▲2.5	▲15.2	1.9	▲1.9	4.1	2.6	7.2	▲4.3
前年同期比	—	—	—	—	—	▲10.8	▲12.4	10.3	7.4
在庫	104.5	102.0	89.6	95.2	98.6	99.6	104.4	100.2	102.3
前期（年）比	8.5	▲2.4	▲12.2	6.3	3.6	0.7	4.8	▲4.0	2.1
前年同期比	—	—	—	—	—	4.9	7.1	5.1	3.6



※枠内の品目については、各業種の上昇または下落に寄与した主な品目を掲載
 ※在庫指数における輸送機械工業は秘匿

(2) 財別動向（生産・在庫の詳細はp.38以降を参照）

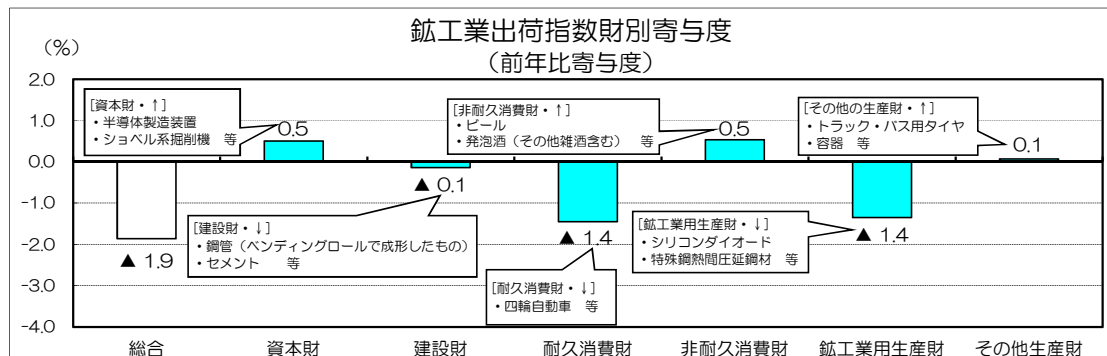
財別の出荷指数を用いて、耐久消費財、資本財などの財の需要動向や、財の動きを通して最終需要の動きを把握することができる。

- 総合出荷指数は100.0で、前年比1.9%減と2年ぶりの低下となった。最終需要財は同0.8%減と4年連続の低下となった。生産財は同3.4%減と2年ぶりの低下となった。
- 最終需要財のうち、資本財は、半導体製造装置、ショベル系掘削機などが上昇したため、同3.4%増と2年連続の上昇となった。
建設財は、鋼管（ベンディングロールで成型したもの）、セメントなどが低下したため、同2.5%減と2年ぶりの低下となった。
耐久消費財は、四輪自動車などが低下したため、同5.0%減で4年連続の低下となった。
非耐久消費財は、ビール、発泡酒（その他雑酒含む）などが上昇したため、同4.3%増で5年ぶりの上昇となった。
- 生産財のうち、鉱工業用生産財は、シリコンダイオード、特殊鋼熱間圧延鋼材などが低下したため、同4.0%減と2年ぶりの低下となった。
その他の生産財は、トラック・バス用タイヤ、容器などが上昇したため、同1.5%増と2年連続の上昇となった。

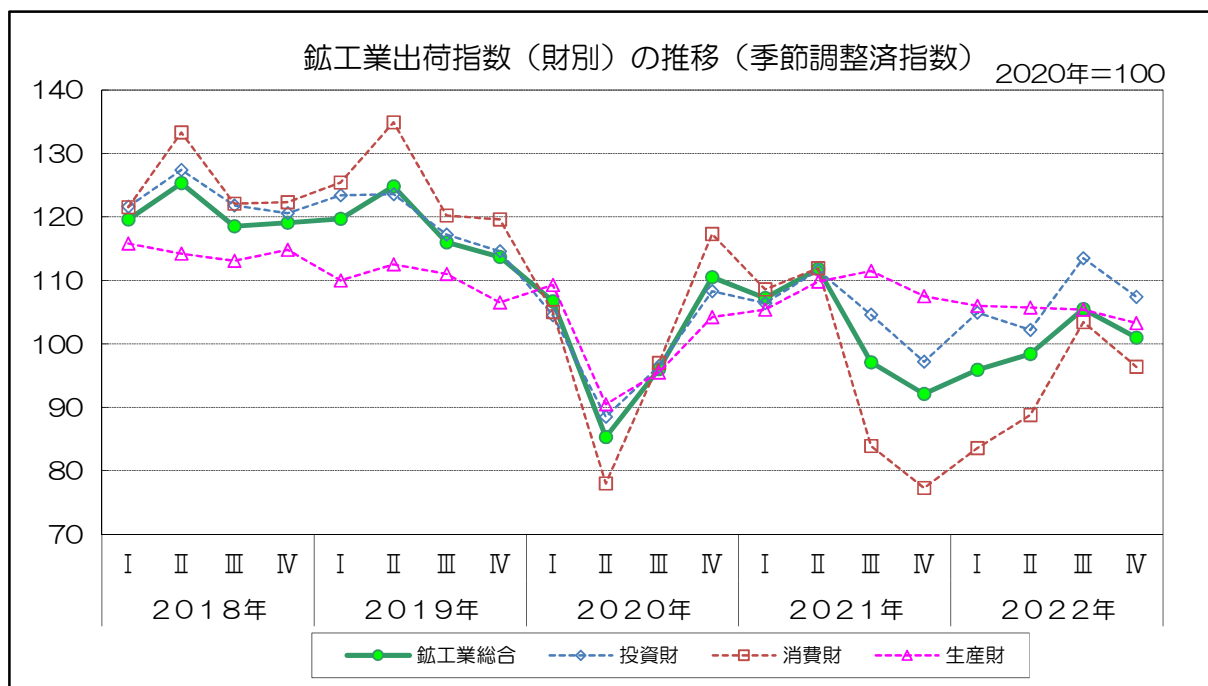
鉱工業出荷指数（財別）の推移（年は原指数、四半期は季節調整済指数）

2020年＝100

	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	I	II	III	IV
鉱工業総合	120.9	117.9	100.0	101.9	100.0	95.9	98.4	105.5	101.0
前期（年）比	0.2	▲ 2.5	▲ 15.2	1.9	▲ 1.9	4.1	2.6	7.2	▲ 4.3
前年同期比	—	—	—	—	—	▲ 10.8	▲ 12.4	10.3	7.4
最終需要財	124.4	122.5	100.0	98.1	97.3	90.3	93.7	105.7	99.9
前期（年）比	0.3	▲ 1.5	▲ 18.4	▲ 1.9	▲ 0.8	8.0	3.8	12.8	▲ 5.5
前年同期比	—	—	—	—	—	▲ 16.7	▲ 17.3	20.5	16.2
投資財	123.3	118.8	100.0	104.8	106.7	104.9	102.2	113.5	107.4
前期（年）比	▲ 0.1	▲ 3.6	▲ 15.8	4.8	1.8	7.9	▲ 2.6	11.1	▲ 5.4
前年同期比	—	—	—	—	—	▲ 2.1	▲ 8.2	10.2	8.0
資本財	128.0	121.4	100.0	106.1	109.7	106.3	102.6	118.3	112.3
前期（年）比	0.1	▲ 5.2	▲ 17.6	6.1	3.4	11.1	▲ 3.5	15.3	▲ 5.1
前年同期比	—	—	—	—	—	▲ 2.9	▲ 11.2	15.0	14.4
建設財	111.3	112.2	100.0	101.6	99.1	101.8	101.6	99.3	95.2
前期（年）比	▲ 0.6	0.8	▲ 10.9	1.6	▲ 2.5	0.6	▲ 0.2	▲ 2.3	▲ 4.1
前年同期比	—	—	—	—	—	0.6	0.0	▲ 2.9	▲ 7.2
消費財	124.9	124.1	100.0	95.1	93.0	83.6	88.8	103.4	96.4
前期（年）比	0.6	▲ 0.6	▲ 19.4	▲ 4.9	▲ 2.2	8.2	6.2	16.4	▲ 6.8
前年同期比	—	—	—	—	—	▲ 23.2	▲ 21.6	25.9	21.0
耐久消費財	133.2	132.0	100.0	93.7	89.0	77.7	83.0	102.3	92.7
前期（年）比	1.5	▲ 0.9	▲ 24.2	▲ 6.3	▲ 5.0	15.8	6.8	23.3	▲ 9.4
前年同期比	—	—	—	—	—	▲ 31.0	▲ 32.6	34.1	33.1
非耐久消費財	104.9	104.8	100.0	98.5	102.7	101.7	102.4	105.5	101.5
前期（年）比	▲ 2.1	▲ 0.1	▲ 4.6	▲ 1.5	4.3	1.7	0.7	3.0	▲ 3.8
前年同期比	—	—	—	—	—	2.3	4.6	9.2	0.9
生産財	114.7	109.8	100.0	108.6	104.9	106.0	105.7	105.4	103.3
前期（年）比	0.0	▲ 4.3	▲ 8.9	8.6	▲ 3.4	▲ 1.4	▲ 0.3	▲ 0.3	▲ 2.0
前年同期比	—	—	—	—	—	0.4	▲ 3.9	▲ 5.1	▲ 4.9
鉱工業用生産財	114.4	109.1	100.0	108.7	104.3	105.2	104.7	104.8	102.8
前期（年）比	0.0	▲ 4.6	▲ 8.3	8.7	▲ 4.0	▲ 1.8	▲ 0.5	0.1	▲ 1.9
前年同期比	—	—	—	—	—	▲ 0.7	▲ 5.2	▲ 5.5	▲ 5.0
その他用生産財	117.0	114.4	100.0	108.0	109.6	110.7	113.1	109.8	106.1
前期（年）比	▲ 0.3	▲ 2.2	▲ 12.6	8.0	1.5	0.6	2.2	▲ 2.9	▲ 3.4
前年同期比	—	—	—	—	—	7.5	5.2	▲ 1.1	▲ 4.9

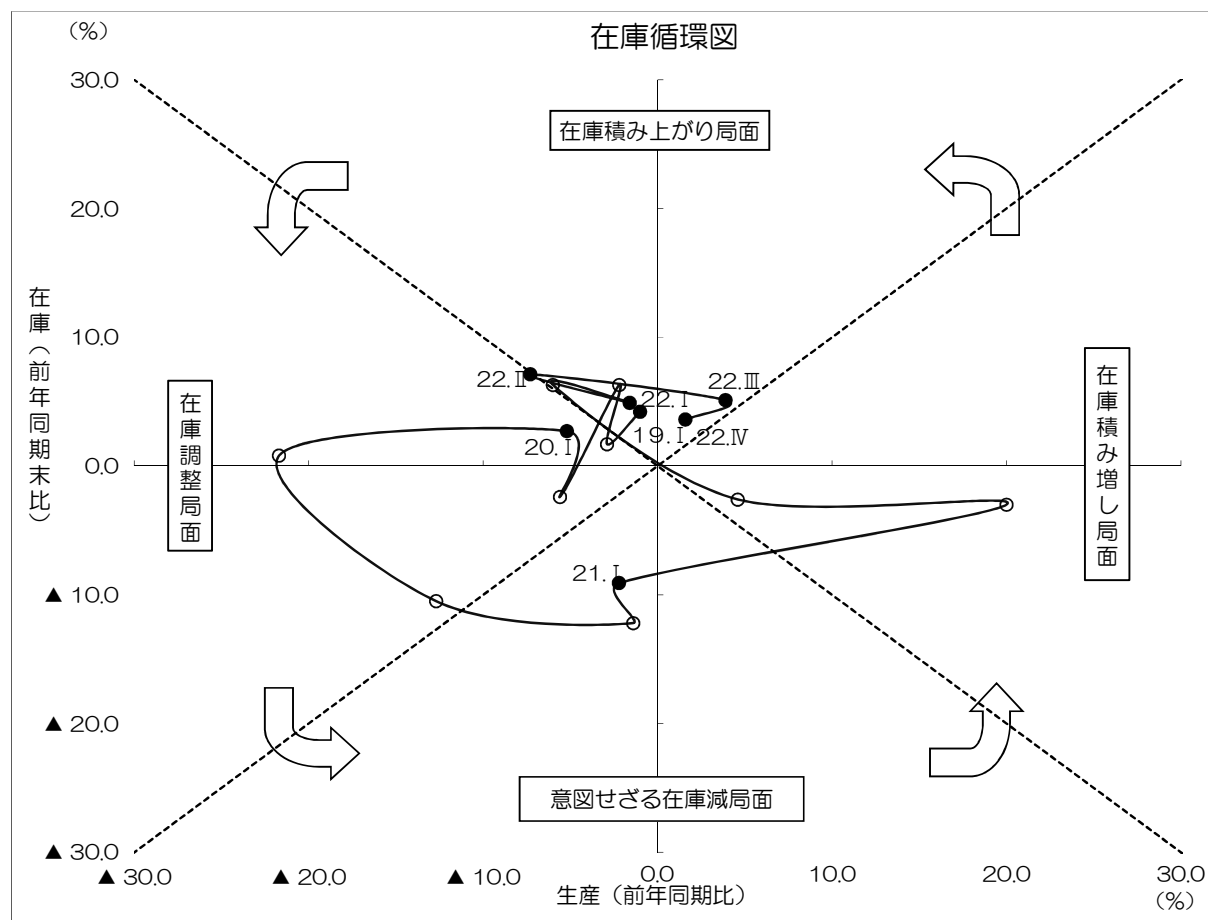


※枠内の品目については、財別の上昇または下落に寄与した主な品目を掲載



(3) 在庫循環図（2019年1～3月期から2022年10～12月期）

在庫循環状況を見ると、2022年は「在庫積み上がり局面」のまま推移している。



※在庫循環図の見方

横軸に生産、縦軸に在庫の前年同期（期末）比を取り、生産と在庫の関係から現状を判断する。
一般的に、右斜め上45°より下は景気の回復期で、上は景気の後退期とされる。